文書・文間及びカテゴリ間の関係を 考慮したレーティング予測

知能数理研究室 12056 外山 洋太

多カテゴリ における 商品レ<u>ビューのレーティング</u> 予測

- ▶ 研究意義:企業における文書からの商品の評判分析
- レビュー内の文・単語・レーティング等の間で様々な関係が存在→ 文書・文間の関係及びカテゴリ間の関係に着目

ホテルの雰囲気はとてもよく食事もおいしかったです。部屋についても、窓からの見晴らしがよく海がとても綺麗でした。フロアの汚れが気になりましたが、翌日にはきちんと清掃されていました。機会があれば、また利用したいと思います。

総合 ☆☆☆☆ 4 サービス 3 立地 5 部屋 4 設備・アメニティ 4 風呂 3 食事 5

カテゴリ

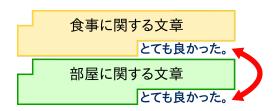
レーティング

文間・カテゴリ間の関係

文間の関係

「とても良かった」の文が

- ▶ 上の段落に存在 ⇒ 食事◎
- ▶ 下の段落に存在 ⇒ 部屋○



カテゴリ 間の関係

▶ 他のカテゴリ ○⇒ 「総合」カテゴリ ○



関連研究

隠れ状態を用いたホテルレビューのレーティング予測1

- ▶ 文毎のレーティングからレビュー全体のレーティングを予測
- ▶ カテゴリ間の繋がりを手調整で変化させて考慮



パラグラフベクトル2

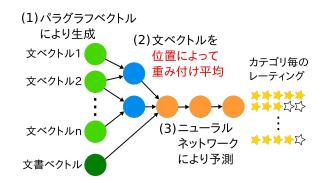
- ▶ 文や文書を実数ベクトルに変換する手法
- ▶ レーティング予測において優れた性能

¹藤谷宣典ら, 隠れ状態を用いたホテルレビューのレーティング予測. 言語処理学会第 21 回年次大会, 2015.

²Quoc Le et al., Distributed representations of sentences and documents. ICML 2014, 2014.

提案手法

- ▶ 特徴:文書・文間及びカテゴリ間の関係を自動で考慮
- ▶ パラグラフベクトルと入出力間の複雑な関係を考慮できる ニューラルネットワークを利用



実験

実験設定

- ▶ 7カテゴリにおける 0~5点のレーティング予測の正答率を測定
- ▶ データセット:楽天トラベルにおけるレビュー約330,000件

結果

▶ 提案手法が従来手法より高い正答率を 示した

手法	正答率 [%]
従来手法	48.32
提案手法	50.30

まとめと今後の課題

まとめ

- ▶ 文書・文間及びカテゴリ間の関係を考慮した レーティング予測手法を提案
- ▶ 従来手法より高い正答率

今後の課題

- ▶ 文間や単語間、文字間等のより多様な関係を考慮
 - → レビューの特徴の抽出と分類のモデルを統合